

ています。また、大阪市では、様々な障がいの特性や必要な配慮を理解し、「ちょっとした手助けや配慮」を行うことで、誰もが住みやすい社会をめざすため「あいサポート運動」を実施しています。

これらの取り組みにより、思いやり、支え合いの輪が広がってほしいと思います。困っている方に声をかけることは勇気のいることですが、皆さんお一人おひとりの勇気と優しさが、誰もが暮らしやすい社会につながっていきます。

大阪市では、これからも「共生社会」の実現に積極的に取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

障がいのある皆さんは、虐待や差別を受けて、嫌な思いをしたり、困ったことがあったときは、一人で悩まず、周りのご家族や友達、支援を受けている人に相談してください。大阪市内にも、皆さんの力になるための相談窓口を設けています。ぜひ、相談してください。

平成30年7月26日

大阪市福祉局障がい者施策部長 中島 進

には、全国の障害福祉関係25団体と連携し、要望活動を行いました。

その結果、当初は大幅な減額改定が見込まれていましたが、最終的には全体で0.47%の増額となりました。

4. 障害者芸術文化活動の推進

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向け、障害者の文化芸術活動の推進を図っています。

29年度には、国会の超党派による議員連盟を組織し、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律案」の成立に向け支援を行いました。(法案は30年6月7日に成立)

5. 内閣府の障害者週間連続セミナーへの参加

12月の障害者週間には、内閣府の企画で開催された障害者週間連続セミナーで、「糸賀一雄思想『この子らを世の光に』とともに共生社会の実現に向かう」と題してシンポジウムを開催しました。

続けて、2018年度から2019年度の役員体制について提案があり、原案通りとなりました。その後役員会が開催され、次のような体制となりました。

全国手をつなぐ育成会連合会 役員一覧 (敬省略)

(任期：2018年6月27日～2020年定時総会終了時)

全国手をつなぐ育成会連合会 2018年度定時総会が開かれました

理事長 小泉 いと子

6月27日に東京で全国手をつなぐ育成会連合会2018年度定時総会が開催されました。

今回の定時総会での議案は、29年度の事業報告・収支決算と、役員の改選案の審議になりました

事業報告では、29年度に連合会で取り組んだものとして次の5点が挙げられ、収支決算も含めて説明がありました。

1. 災害支援基金の創設

近年、自然災害が多発しており、各地に甚大な被害をもたらせています。

29年度には、被災された育成会会員に対する災害見舞金、ならびに被災地への支援活動に充当するために災害支援基金を創設しました。

2. 地域育成会の活性化策

全国の都道府県ならびに政令市育成会に所属する各区市町村育成会で、主体的な研修等の活動を行い、育成会活動の活性化と発展を目的に地域育成会活性化のための研修等事業費助成を行いました。

3. 報酬改定に対する要望活動

30年4月に実施された報酬改定に向け、29年度

会長	久保 厚子 〔(公社)滋賀県手をつなぐ育成会 理事〕
副会長	小出 隆司 〔静岡県手をつなぐ育成会 会長〕
	佐々木 桃子 〔(社福)東京都手をつなぐ育成会 理事長〕
	小島 幸子 〔(一社)栃木県手をつなぐ育成会 会長〕
統括	田中 正博 〔(独法)国立のぞみの園 参事〕
中央推薦役員	金子 健 〔明治学院大学 名誉教授〕
	吉川 かおり 〔明星大学 教授〕
	西 恵美 〔(社福)熊本県手をつなぐ育成会 理事〕
運営委員	江村 恵子 〔(一社)群馬県手をつなぐ育成会 会長〕
	崎山 美智子 【事務サポートセンター】 〔(公社)滋賀県手をつなぐ育成会 理事長〕
	高木 誠一 【政策研究開発センター】 〔静岡県手をつなぐ育成会 理事〕
	村山 園 【権利擁護】 〔千葉県手をつなぐ育成会 権利擁護委員会委員長〕